

2020年8月13日

報道関係者 各位

日本医療福祉生活協同組合連合会  
代表理事専務理事 片山忍

私ども日本医療福祉生活協同組合連合会（略称＝医療福祉生協連）は、日本生活協同組合連合会および全国 104 の医療福祉生協で構成している連合会です。全国に 75 病院（12,300 床）、333 診療所、介護老人保健施設や訪問看護ステーションなど 1,400 を超える介護事業所を有しております。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により医療機関の経営が悪化していることはすでに多くの報道機関でとりあげられている通りであり、各医療団体から国に対して医療機関への財政支援の要請が出されております。

弊会といたしましても、「医療崩壊・介護崩壊をおこさないために、医療機関および介護事業所への財政支援を求める緊急要望書」（7月14日付）を安倍内閣総理大臣、加藤厚生労働大臣に提出しております。

新型コロナウイルス感染症患者を受け入れた病院、または入院受け入れ準備をおこなった病院へは一定の減収補填がすすめられておりますが、それ以外の病院、診療所でも大きな減収となっており、外来や健診・人間ドックおよびそこからの入院や手術の減少が続いている現状では今後さらに経営悪化がすすみ、資金不足による経営破綻、医療崩壊が強く危惧されます。

医療機関・介護事業所の経営状況を継続的にお知らせし、全ての医療機関、介護事業所への国による財政支援を求めるために、会員生協の経営状況について公表いたします。

報道の参考にしていただければ幸いです。

－参考－

2020年7月14日

「医療崩壊・介護崩壊をおこさないために、医療機関および介護事業所への財政支援を求める緊急要望書」

要望内容：医療機関および介護事業所の減収補填として、緊急の財政支援を求める。

## 1. 4月～6月の会員生協調査（89生協回答）

※第1四半期累計値（2020年4月～6月）

### 6月は回復基調となったが累計では大幅な減収

#### ① 事業収益

回答89生協中81生協が前年割れ。うち29生協が前年比90%を下回った。40生協が3か月連続で前年割れとなった。

- ・ 事業収益合計：前年比91.9%（4月91.8%、5月87.0%、6月97.0%）。  
6月は回復基調となったが、依然前年割れとなっており、4月・5月の大幅な減収が経営悪化の大きな要因となっている。
- ・ 累計の前年比では、100%を超えたのは8生協のみで、81生協が前年割れ。  
100%未満～90% 52生協、90%未満～80% 26生協、80%未満 3生協。
- ・ 医療事業収益合計：前年比90.3%（うち 入院93.7%、外来89.0%、健診58.6%）  
外来収益と健診収益の減少が顕著となった。したがって、医科診療所、歯科診療所の減収も大きい。

〈事業収益前年比の推移〉

	4月	5月	6月	累計
医療事業収益	89.8%	85.4%	96.0%	90.3%
うち入院収益	96.4%	90.2%	97.2%	93.7%
うち外来収益	83.6%	83.3%	97.9%	89.0%
うち健診収益	62.6%	37.2%	70.4%	58.6%

- ・ 介護事業収益合計：前年比99.4%（4月98.5%、5月96.1%、6月103.5%）。  
うち通所・居宅サービス同比96.8%。  
介護事業については、通所系の減収が顕著である。

### 76生協（85%）が経常剰余赤字。34生協が3か月連続で赤字。

#### ② 経常剰余金

回答89生協中76生協が経常剰余金赤字。うち34生協が3か月連続で赤字。

3か月累計で経常剰余金が▲1億円を超えたのは17生協。経常剰余率では、24生協が▲10%を超える赤字に。

(単位：生協数)

経常剰余金	
0円以上	13
0円～ ▲5,000万円未満	50
▲5,000万円～ ▲1億未満	9
▲1億～ ▲1億5,000万円未満	9
▲1億5,000万円～ ▲2億未満	2
▲2億以上	6
合計	89

(単位：生協数)

経常剰余率	
0%以上	13
-0%～-5.0%	26
-5.0%～-10.0%	26
-10.0%～15.0%	17
-15.0%～-20.0%	4
-20.0%以上	3
合計	89

お問合せ先

日本医療福祉生活協同組合連合会 会員支援部 江本淳  
〒169-0073 東京都新宿区百人町3-25-1 サンケンビルディング5階  
TEL：03-4334-1580 FAX: 03-4334-1585 E-mail: at\_e@hew.coop

以上